

現在開催中の企画展「『月映』」展とともに、当館展示室6では、APMoA Project, ARCH vol.14として名古屋美津子さんの写真作品<New Self, New to Self>シリーズを展示しています。このシリーズは名古屋さんのセルフ・ポートレートなのですが、すべて顔が隠されています。その隠し方が絶妙で、ほうきやアイロン、バスタオルなどの日用品を用いながら、ちょっと面白い、可笑し味のあるポーズで撮影されています。

先日の5月2日には、名古屋さんによるアーティスト・トークが行われ、このシリーズが生まれるきっかけや制作方法など、いろいろなお話をうかがうことができました。1点の作品を制作するために、まず自宅のアパートの一部のスペースに壁紙を貼ったりしてセットを作り、セルフタイマーを用いながら自らポーズを取って、何十回、何百回と納得がいくまで撮影を繰り返すのだそう。ただポーズを取るだけでなく、体の各部分の力の入れ方によって、筋肉や筋の緊張感なども違って来るらしく、そうした力加減を調節するのが難しいようです。



▲「#34」 <New Self, New to Self> 2011年

片足を上げたポーズがとてもつらかったのだそう…



▲展示室で参加者の方からの質問に答える名古屋さん

顔を隠してセルフ・ポートレートを撮影する理由は、学生時に与えられるセルフ・ポートレートの課題をこなしながら、「自分とは何か」ということを追究するのに限界を感じたから。今の自分より、自分がどうしたいのか、どうなりたいのか、現在ではなく未来を志向しながら、自己を作り出すことのほうが、楽しいと思えるから。

名古屋さんの作品に出会って、APMoA Projectで紹介したいと思ったのも、この自己を創造する、というコンセプトに共感したからかもしれません。（ああ、展覧会の準備で疲弊していた頃…（笑））

New Self, New to Self — 新しい自分、自分にとっての新しいこと。

そんなワクワク、ドキドキを展示室でぜひ実感してほしいと思います。

(MM)